

小規模校の教育

日南市立細田小学校
校長 島田 希孝

細田小学校は、日南市街地から約7キロメートルの田園地帯にある平地校である。明治7年に設立された寺子屋を前身とする塚田、萩之嶺、上方の3小学校が、明治24年に合併して細田尋常小学校として設置された。大正4年に現在地に移転し、昭和22年に細田町立細田小学校と改称した。昭和30年日南市への編入に伴い日南市立細田小学校に改称し、現在に至る。

一時期は、500名を超える児童が在籍していたが、次第に減少し本年度の在籍児童数は28名で、1・2年が単式、3・4年と5・6年が複式の4学級である。職員は10名であるが、少人数の利点を生かした個別指導や、学年の枠を超えた学習活動に取り組んでいる。また、近隣の大堂津小学校を会場に、大窪小学校と共に3校で実施する集合学習や6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習、大窪小と合同で開催する運動会など、近隣学校との交流活動も積極的に推進している。また、細田地区4校（細田中、大堂津小、細田小、大窪小）では合同研修会を実施し、小中一貫教育に取り組んでいる。

子供たちは、兄弟姉妹のように仲が良く、朝のボランティア活動や昼の清掃活動などに、協力して取り組んでいる。昼休みは、全員で陣取りをしたり、鬼ごっこをしたりと、元気な声が校庭に響いている。一人一人の役割も多く、それぞれに活躍の場があり、子供たちの自信につながっている。

校庭にそびえたつ梅檀（せんだん）の木は、推定樹齢140年を超える。校歌にも「校庭の梅檀の木 年ごとに花咲き実る なつかしい梅檀の木細田小 いつも強くいつも明るく」と歌われるように、学校のシンボルとして、開校当時から子供たちの成長を見守ってきた。地域や保護者の方々にも、読み聞かせ活動や朝の見守り活動、合同運動会、餅つきなど、多方面において協力していただき、地域の学校として愛していただいている。これからも、地域・保護者と連携して、「自ら学び、進んで実践する児童の育成」をめざして取り組んでいきたい。



日南市立細田小学校の教育方針
自ら学び、進んで実践する児童の育成

きらきら にこにこ ぐんぐん

輝笑挑
く
瞳顔戦

小さな学校の児童に大きな力を